



事業報告書

(自)平成 28 年 4 月 1 日

(至)平成 29 年 3 月 31 日

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会

目次

【重点目標に対する処理事項】	17
【法人運営・管理】	18
1. 総務部門	
2. 労務管理部門	
3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営	
4. 共同募金関係	
【地域福祉事業】	23
1. 相談事業	
2. 貸付事業	
3. 子育て支援事業	
4. 生活支援事業	
5. 社会参加・交流事業	
6. 総合福祉的事業	
7. 災害・緊急支援事業	
【ボランティアセンター事業】	35
1. 相談・登録・紹介	
2. 広報・啓発	
3. 参加・育成	
4. ボランティアの連携・交流	
【介護保険等事業】	38
1. 居宅介護支援事業	
2. 訪問介護事業	
3. 通所介護事業	
4. 福祉用具貸与事業	
5. 福祉タクシー事業	
【障害者総合支援事業】	40
1. 居宅介護事業	
2. 行動援護事業	
3. 移動支援事業	
4. 生活介護事業	
5. 就労移行支援事業	
6. 相談支援事業	
7. 障害者日中一時支援事業	

平成28年度

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

事業計画に基づき、役職員をはじめ行政、各種関係団体等との連携を図り地域住民の協力のもと、地域福祉推進のため次のとおり事業を実施いたしましたので報告いたします。

【重点目標に対する処理事項】

1. 地域福祉活動事業の推進

支え合い、助け合いの地域づくりについて、地域での懇談会を実施し、地域福祉活動事業の周知と取り組みの促進を図りました。

2. 新社会福祉法の改正に向けた準備

新社会福祉法の改正案が示され、内部管理を強化するため理事会や評議員会、役員等の役割や権限、責任の範囲等が明確に定められたことに伴い、定款変更や関連する諸規定等の改正及び制定を行い、経営組織体制の整備を行いました。

3. 新たな事業体制のための事業の見直し

住民のニーズに対応した事業展開や介護保険制度の改正に伴う新規事業の体制整備を図るため、内部において既存事業の見直しや簡略化の検討を行い、新規事業については行政との協議を行いました。

【法人運営・管理】

1. 総務部門

(1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会

回数	開催	会場	議事
1	平成28年 5月27日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告について 平成27年度会計収入支出決算について 評議員の選任同意について
2	平成28年 6月21日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 会長及び副会長(2名)の選任について 会長職務代理者の選任について
3	平成28年 12月19日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 定款の全部改正について 評議員選任、解任委員会運営細則の制定について
4	平成29年 2月15日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 評議員選任、解任委員の選任について 評議員選任規程の制定について 評議員候補者の推薦について 役員選任規程の制定について
5	平成29年 3月28日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 収入支出補正予算(第1号)(案)について 会員規程の一部改正について 庶務規程の一部改正について 経理規程の全部改正について 訪問介護事業運営規程の一部改正について 通所介護事業運営規程の一部改正について 居宅介護支援事業運営規程の一部改正について 定款細則の廃止について 平成29年度事業計画(案)について 平成29年度会計収入支出予算(案)について

② 評議員会

回数	開催	会場	議事
1	平成28年 5月27日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告について 平成27年度会計収入支出決算について
2	平成28年 6月16日	下妻公民館	<ul style="list-style-type: none"> 理事の選任について 監事の選任について

3	平成28年 12月19日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 定款の全部改正について 評議員選任、解任委員会運営細則の制定について
4	平成29年 3月28日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> 収入支出補正予算(第1号)(案)について 会員規程の一部改正について 庶務規程の一部改正について 経理規程の全部改正について 訪問介護事業運営規程の一部改正について 通所介護事業運営規程の一部改正について 居宅介護支援事業運営規程の一部改正について 定款細則の廃止について 平成29年度事業計画(案)について 平成29年度会計収入支出予算(案)について

(2) 苦情解決体制の強化

施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。

事業所名	苦情件数	対応中件数	解決件数	未解決件数
ぷらっとほーむ	3件	0件	3件	0件
砂沼荘	1件	0件	1件	0件
社協ケアセンター	3件	0件	3件	0件
ひばりの	0件	0件	0件	0件
事務局	0件	0件	0件	0件

(3) 広報・啓発活動

① 広報「ふくしものがたり」等の発行

紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく、親しみのある広報の紙面づくりに努めました。

内容	発行	配布先
しもつま社協広報紙	6回(238号~243号)	市内全戸
会員募集広報	1回	



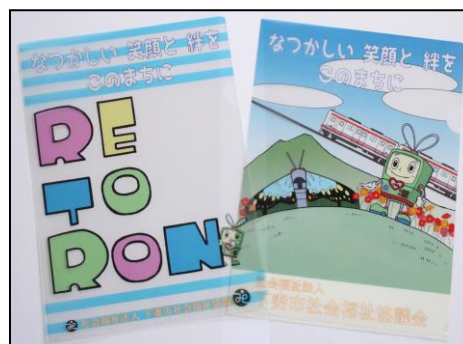
② ホームページ

市民にできるだけ新しい情報を伝えるため、掲載内容を更新しました。また、ホームページのリニューアルについて検討しました。



③その他の広報

社協のキャラクター「レトロン」のノベルティグッズ（クリアファイル）を作成しPR等に活用しました。



(4) 会員増強運動の実施

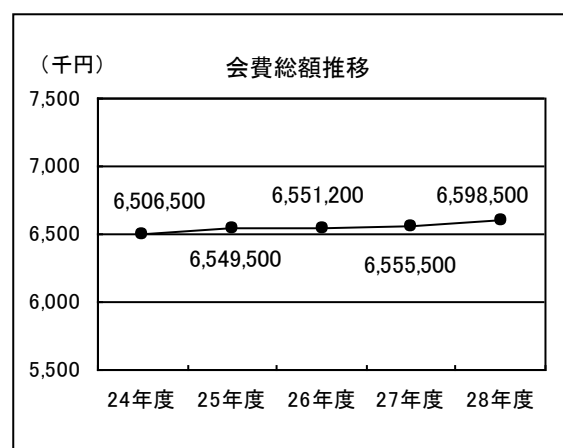
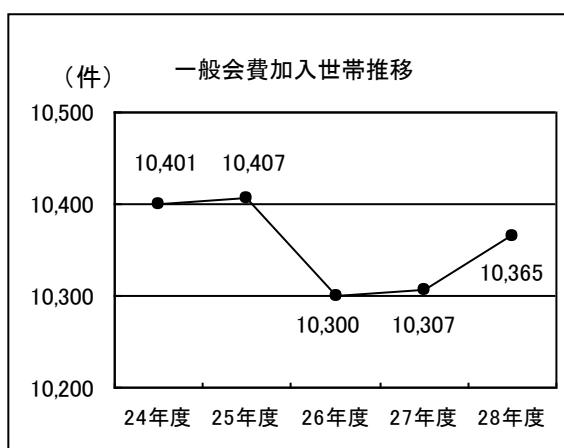
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

<説明会等の開催>

種類	開催	会場	内容	対象者
一般会費	4月26日	下妻市役所第二庁舎	取りまとめ依頼	支部推進員
特別会費	5月27日	下妻市役所本庁舎	取扱説明	支部代表者

<加入実績>

種類	会員数	会費額	対目標額
一般会費	10,365世帯	5,182,500円	99.4%
特別会費	273件	1,416,000円	106.5%
計	—	6,598,500円	100.8%



(5) 自動販売機設置運営事業

契約業者数	設置施設	設置台数	割戻金
8社	25施設	49台	1,752,298円

※1社が11月にて撤退

2. 労務管理部門

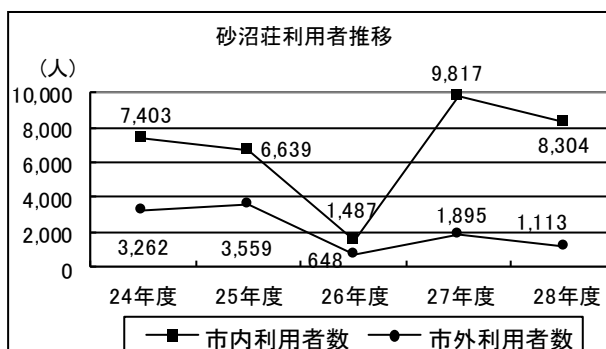
(1) 職員研修の実施

開催日	研修内容	参加
3月8・9日	救急法短期講習 講師：日本赤十字社茨城支部	62名

3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

① 福祉センター「砂沼荘」

区分	利用者数
市内居住者	8,304名
市外居住者	1,113名
計	9,417名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
ちびっこひろば（サロン）	毎月 第4水曜日	173組 368名
健康体操教室	毎月 第1・第2金曜日 第3・第4木曜日	1,062名
シルバーリハビリ体操	毎月 第3水曜日	262名
スクエアステップ	毎月 第2・第4火曜日	678名

※講座については入館料無料

※健康体操教室については曜日の変更あり

② 下妻市福祉センター「シルピア」

利用団体	利用	延べ利用者
市内2団体	18回	216名

③ 下妻福祉センター「シルピア別館」

利用団体	利用	延べ利用者
市内10団体	293回	5,471名

④ 下妻市中心身障害者福祉センター「ひばりの」「福祉ふれあいハウス」

利用団体	利用	延べ利用者
0	0	0名

4. 共同募金関係

(1) 共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し合わせ事項に基づき、下妻市支会の業務として全面的に協力し事業を展開しました。



(2) 助成金交付事業

① 地域福祉助成事業

社協だより、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

< 助成実績 >

No.	時期	申請事業	決定額
1	第1期	たまり場「ゆい」運営事業	90,000円
2	第1期	発達障害と不登校を考える親の情報交換会事業	167,000円
3	第1期	高齢者の健康増進事業	23,000円
4	第2期	一人暮らし高齢者ひきこもり防止事業	200,000円
5	第2期	福田地区多世代交流集いの場事業	200,000円
6	第3期	居住地域の環境整備事業	195,000円
計			875,000円



高齢者の健康増進事業（サロンさぬま）



福田地区多世代交流集いの場事業

② 地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

< 助成実績 >

No.	申請事業	決定額
1	心身障害児者父母の会療育キャンプ事業	92,000円
2	とばのえ子ども夏まつり事業	50,000円
計		142,000円

③ 活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

< 団体助成金 >

助成先	件数	金額
支部社協	8件	1,940,000円
自治区長連合会	1件	325,320円
民生・児童委員協議会	1件	246,000円
合計	10件	2,511,320円

【地域福祉事業】

1. 相談事業

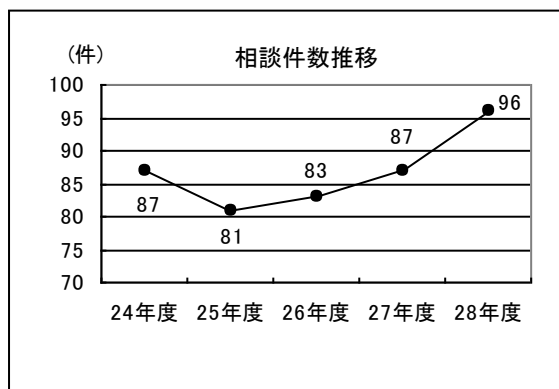
(1) 心配ごと相談事業

法律相談を月3回開催しました。

<実績報告>

内容	開催	件数
法律相談	34回 (第2・3・4火曜)	96件

※相談員8名・弁護士3名



<相談内容：件数は延数>

相談内容	件数	相談内容	件数
借金問題	8件	財産	1件
事故等	4件	隣人	6件
金銭の貸し借り	6件	家族	6件
離婚	12件	友人	1件
子供の養育・親権	3件	職場	3件
住居	2件	相続	25件
土地（不動産）	12件	その他	16件
架空請求	2件	—	—
		合計	107件

(2) 乳幼児発達相談事業

個別指導：毎月4回の指導日を設けました。

相談者の都合に合わせて指定日に来談できなかった親子に対し、臨時の相談日を設け対応しました。

集団指導：第1、3火曜日指導のほか、第2、4火曜日に「親子遊び教室」を一般の方も参加しやすい内容で行い、そこから指導の必要な親子に発達相談室への参加を促しました。

開催内容		実施回数	臨時	実利用者
個別指導	第1金曜	12回	6回	31名 (新規相談者12名)
	第2木曜	12回	1回	
	第3金曜	12回	2回	
	第4木曜	12回	18回	
集団指導	第1火曜	12回	0回	47名(親21名・子26名) 延べ314名
	第3火曜	12回	0回	

2. 貸付事業

(1)生活福祉資金貸付事業

資金の貸付をスムーズに行うため、県社協と連携しながら手続きを行いました。

資金種類	昨年度末	新規	完済	本年度末	滞納
1 福祉資金					
福祉費	5	0	0	5	5
緊急小口資金	7	1	1	7	6
緊急小口資金・特例	0	0	0	0	0
2 教育支援資金					
教育支援費	4	1	0	5	4
就学支度費	2	1	0	3	2
3 総合支援資金					
生活支援費	21	1	2	20	19
住宅入居費	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0
4 不動産担保型生活資金					
一般世帯向け	2	0	1	1	0
要保護世帯向け	0	0	0	0	0
5 臨時特例つなぎ資金					
臨時特例つなぎ資金	1	0	0	1	1
計（件）	42	4	4	42	37

※年間相談件数延 37 件

(2)小口資金貸付事業

相談・申込み	貸付	償還	完済件数
45件	11件	36件	12件

未償還金額 2,573,000 円

今年度貸付金額 348,000 円 償還金額 395,000 円

滞納件数 55 件

3. 子育て支援事業

(1)ファミリーサポートセンター事業（うえるきっす含む）

- ・会員登録を整理し継続の確認を行いました。

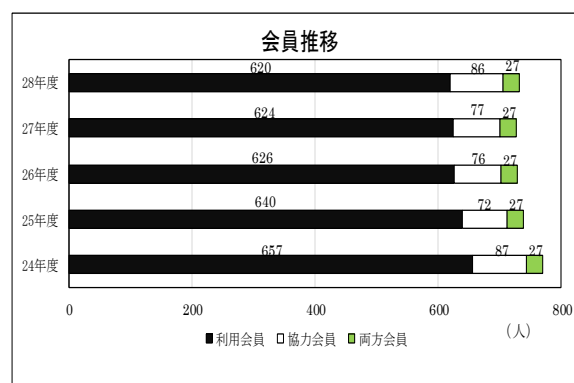
利用会員・・・退会者 40 名、新規登録者 36 名（お子さんが 12 歳になることで自動的に退会となります）

協力会員・・・新規登録者 9 名

・
関係機関へ来談者があった場合、事業説明ができるよう協力を依頼しました。

<会員状況>

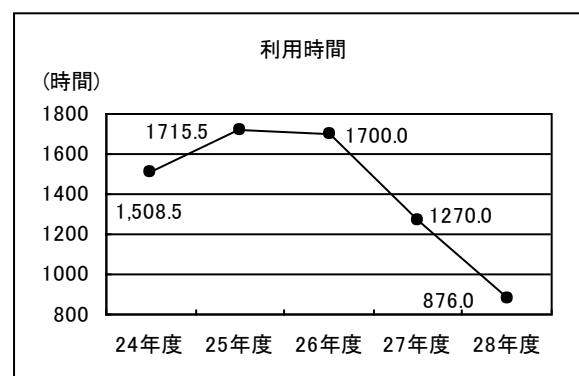
会員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	624名	36	40	620名
協力会員	77名	9	0	86名
両方会員	27名	0	0	27名
計	728名	45	40	733名



<ファミサポ：利用実績>

内容	利用時間
時間内	490.5 時間
時間外	31.5 時間
割増	354.0 時間
計	876.0 時間

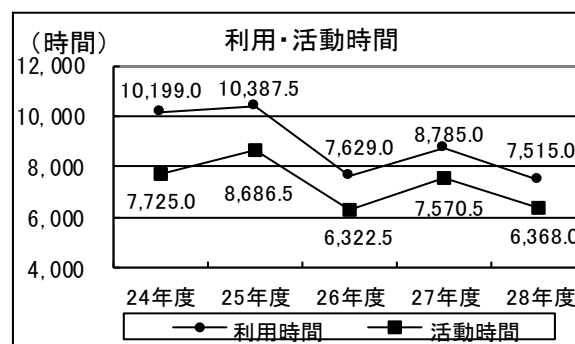
※ファミサポは利用会員宅又は協力会員宅でのお預かり



<うえるきっず：利用・活動実績>

内容	利用時間	活動時間
時間内	6,233.0 時間	5,259.0 時間
時間外	1,282.0 時間	1,109.0 時間
計	7,515.0 時間	6,368.0 時間

※うえるきっずはセンター（社協隣接）でのお預かり



<利用内容及び件数：ファミサポ・うえるきっず合算>

内 容	件 数
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	113 件
学童の迎え及び預かり	226 件
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	319 件
学童保育への送り	83 件
保育所・学校休みの時の援助	578 件
保育所施設入所前の援助	30 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	209 件
他の子供の学校行事の場合の援助	128 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	204 件
合 計	1,890 件

<協力会員定例会>

開催	会場	内容	参加
4月11日	うえるきっず託児室	共通理解・託児室清掃	11名
6月 3日	ひたちなか市	安託児所視察	11名
3月17日	うえるきっず託児室	共通理解と意見交換	12名

(2)協力会員養成講座

開催	会場	内容	参加
5月17日	下妻公民館	子供の発育と病気	11名
5月21日	下妻公民館	孫育て・子育ての心がけ	15名
6月 8日	下妻公民館	子供の食生活と栄養	12名
6月10日	下妻公民館	子供の心の発達	13名
6月17日	下妻公民館	感染症予防	13名
6月21日	下妻公民館	子供の遊び	10名
6月24日	下妻公民館	小児看護の基礎知識	15名
6月27日	保健センター	救命救急	11名
6月29日	下妻公民館	調理実習	9名

(3)親子交流支援活動

<ママのための応援講>

開催	講座名	参加	託児	託児ボランティア
9月13日	ハロウィンのお菓子作り	14名	14名	10名
10月 7日	体を動かそう「ズンバ」	16名	15名	10名
11月29日	クリスマスリース作り	19名	18名	13名

託児を設けることで安心して母親がリフレッシュを図ることができ、また協力ボランティアの確保もスムーズにできました。

(4)子育てひろば事業

<サロン開催状況>

サロン名称	会場	回数	延べ参加人数
おもちゃのひろば	社会福祉協議会2階	12回	32名
にこにこ	上妻市民センター	12回	140名
ひまわり会	運動公園ふれあいハウス	6回	16名
スマイルKIDS	リフレこかい	11回	202名
親子遊び教室	リフレこかい	23回	311名
陽だまりカフェ	下妻公民館	9回	57名

親子サークルひまわり	リフレこかい・特別支援学校	25回	390名
------------	---------------	-----	------



スマイル KIDS (クリスマス会)
 <子育てひろば連絡会・研修>

開催	内容	参加
9月29日	欠席者が多く開催中止	—
3月9日	年間活動報告、情報交換など	7名

4. 生活支援事業

(1) 地域ケアシステム推進事業

関係機関等から相談があった困難ケースに対し処遇検討会議及びクイック会議を年間6回開催しました。

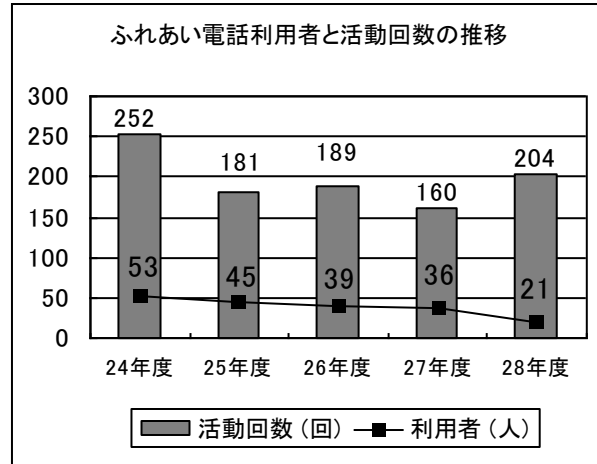
ケース区分	相談件数 (延数)	処遇検討会議			クイック会議			在宅ケアチーム数				
		開催	ケース検討数		開催	ケース検討数		昨年度末	増	減	本年度末	ファミリーケア (再掲)
			実数	延数		実数	延数					
介護保険対象者					3	3	3	4		2	2	
独居高齢者	2	1	1	1				1			1	
他要援護高齢者												
身体障害者												
知的障害者	2											
精神障害者	2							3		1	2	
難病患者												
子育て親等												
終末期患者												
DV被害者	1											
ひきこもり	2											
その他	54				2	1	2	2			2	
計	63	1	1	1	5	4	5	10	0	3	7	

※検討会議員 21 名（福祉 14・保健 2・医療 2・その他 3）

【ふれあい電話訪問事業】

週3回の電話による安否確認を実施しました。

利用者	活動	
21名	123日	204回

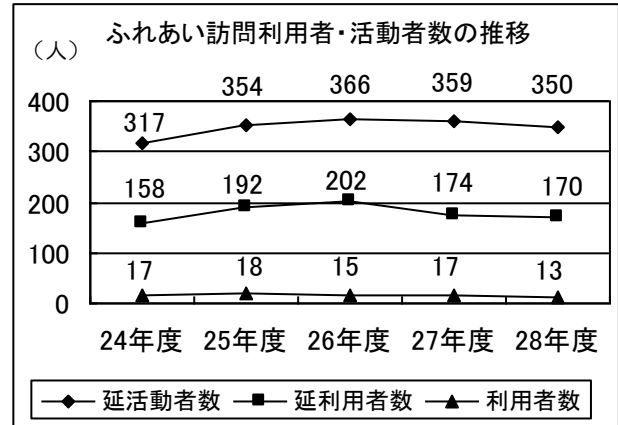


【ふれあい訪問事業】

他機関や親族より相談があり、近隣6市町村の合同研修会へ12名参加し、認知症の予防と対応方法について学びました。

<サービス利用者人数>

利用者数	延べ利用者数	延べ活動者数
13名	170名	350名



【ふれあいお届け事業】

季節感のある絵手紙やカレンダーをお届けしました。

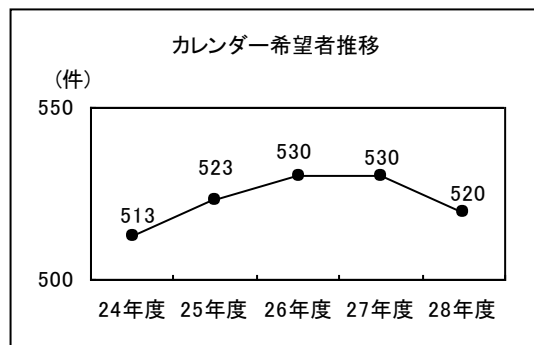
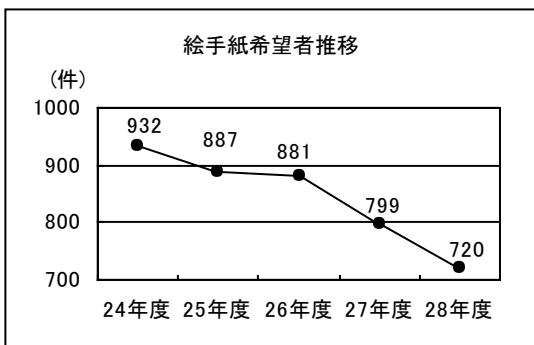
①絵手紙

実施月	件数
8月	369件
12月	351件
計	720件

②カレンダー

実施月	件数
12月	520件

※書き損じ葉書を活用



【障害者理解促進研修会】

障害児・者が地域で一緒に生活していることを認識し、理解することを目的として研修会を開催しました。

開催	内容	一般参加
11月19日	一部：「私たちの子どもを理解して」 講師：伊奈特キャラバン隊 (伊奈特別支援学校保護者) 二部：『不思議行動』の理解と対応 講師：白梅学園大学 教授 堀江まゆみ先生	101名 (内訳) 市内 79名 市外 20名 不明 2名



(2) 在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）

広報事業としてパンフレットの全戸配布やケアマネージャー連絡会にて説明を行いPRに取り組みました。また、会員交流会及び協力会員研修会を行い、利用者49名・協力会員12名の増員となりました。

<会員交流会>

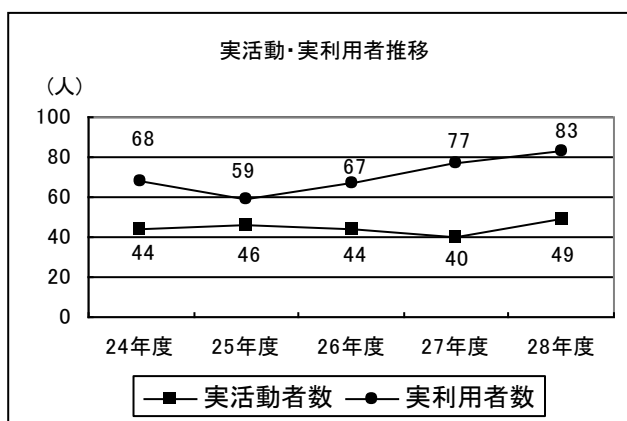
開催	内容	利用会員	協力会員	一般	合計
4月14日	春のお花見会	19名	7名	5名	31名
12月16日	お買い物ツアーイオン下妻店	8名	9名	2名	19名

<研修内容>

開催	内容	協力会員	一般参加	合計
10月11日	「認知症サポーター養成講座」	10名	10名	20名
2月28日	「余りがちな調味料で一品作ろう」	11名	7名	18名

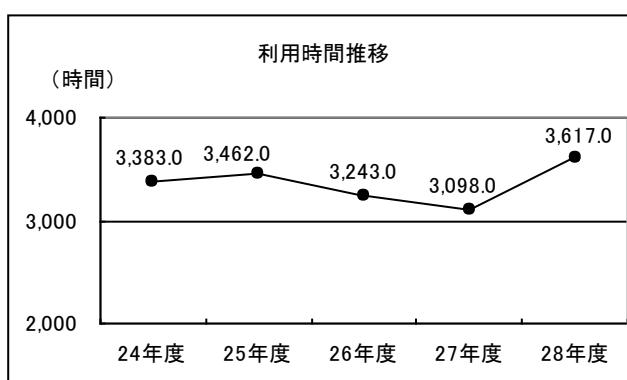
<会員状況>

利用会員	登録会員	227名
	実利用者	83名
協力会員	登録会員	127名
	実活動者	49名



<利用状況>

内容	計
介助	9.0時間
家事支援	3102.0時間
話し相手	276.5時間
通院介助	217.0時間
その他	12.5時間
合計	3,617.0時間



(3)日常生活自立支援事業

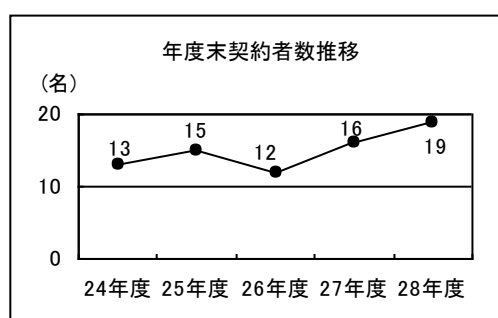
専門員は利用者の判断能力が低下し事業対象外となる適切な時期に成年後見制度へ移行できるよう研修会へ参加しました。生活支援員については、傾聴技術の基礎を学び対象者別の対話訓練を行い、資質向上に取り組みました。

<研修会・会議への参加>

開催	内容
5月25日	日常生活自立支援事業「担当者会議」
1月24日	日常生活自立支援事業「生活支援員現任研修」
2月15日	職連協県西支部研修会「権利擁護の仕組みや成年後見制度の取組み」
3月2日	日常生活自立支援事業「成年後見制度利用促進セミナー」

<契約状況>

内容	前年度末	新規契約	解約	本年度末
認知症高齢者	6	5	3	8名
知的障害者	4	0	0	4名
精神障害者	6	1	0	7名
その他	0	0	0	0名
計	16	6	3	19名



※契約締結審査会への審査依頼 0件

<契約者居所>

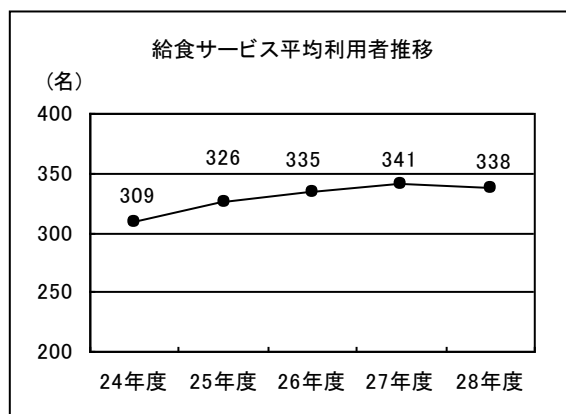
内 容	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計
在 宅	6	3	5	0	14名
施 設	1	0	0	0	1名
病 院	0	0	2	0	2名
グループホーム	1	1	0	0	2名
計	8	4	7	0	19名
生活保護受給者(再掲)	4	1	3	0	8名
書類預かり(再掲)	1	0	1	0	2件

※生活支援員登録者数 7名 ※専門員訪問日数 114日

(4)ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業

ボランティアによる自立した活動への共通理解を図るため、関係するボランティア団体による合同会議を開催しました。

	開 催	会 場	調 理	配 食	配食数	合 計
下 妻	24回 (内、乾麺及びレ トルト食品2回)	下妻公民館 調理室	下妻つくし会	望会 みんせい	5,109食 平均213食	8,118食 平均338食
東 部		大宝公民館 調理室	東部つくし会		1,544食 平均64食	
千 代 川		千代川公民館 調理室	千代川V会		1,465食 平均61食	



(5)声の広報配布事業

特定録音等郵便物を活用し、視覚障害の方へ情報の提供を行いました。

実利用者	回 数	内 容
8名	12回 (月1回)	社協広報、広報しもつま、 市お知らせ版、市立図書館だより

利用者と声の広報を朗読するボランティアの情報交換会と交流会を開催しました。

参加者：18名（視覚障害者等：4名、ボランティア14名）

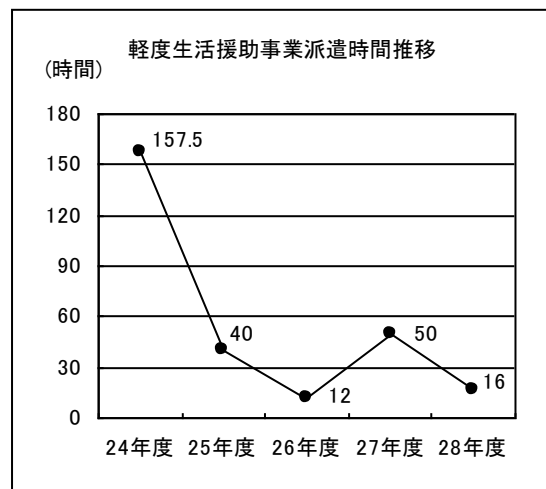


交流会の様子

(6) 軽度生活援助事業

市受託事業として、自立と認定された方へ、掃除、洗濯、買い物、食事作り等の軽易な日常生活上のサービスを提供し、居宅において自立した生活の支援を行いました。

利用者数	派遣回数	派遣時間
1名	16回	16時間



(7) 生活困窮者自立支援事業

離職者等に対し、住居確保給付金制度（家賃相当分の給付）の活用を含め、ハローワークと連携しながら就職活動の支援を行いました。

- ・相談件数は地域ケア事業の相談件数内に含まれる
- ・給付金対象者、定期面談回数 85件（年間延数）
- ・決定者4名の内一般就労につながったのは3名

年間相談件数	55件
住居確保給付金申請数	4件
住居確保給付金決定数	4件

5. 社会参加・交流事業

(1) ひとり暮らし高齢者等ふれあい交流会事業

千代川公民館において、津軽三味線・歌謡ショー・日本民謡のコラボレーションショーを開催しました。交流会の周知については民生委員さんや会場周辺地域の老人クラブ会長さんに協力をいただきました。

開催	会場	内容	参加人数
11月20日	千代川公民館	秋の芸術鑑賞	88名

※会場スタッフとしてボランティア5名の協力をいただきました。

(2)手話通訳者養成講座開催事業

下妻市聴覚障害者協会に委託、手話に関心があり手話通訳者を目指す方が受講しました。

開 催	受講生	修了者
平成 28 年 5 月 12 日～平成 29 年 3 月 30 日 (全 40 回) 毎週金曜日 19:00～21:00 千代川公民館	20 名	7 名

※全 40 回の講座の内、3 分の 2 以上の講座を受講された 7 名に対し修了証を授与しました。

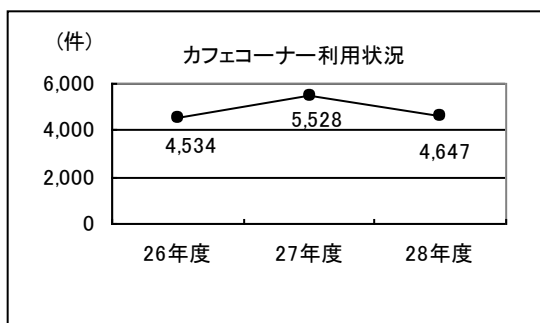
(3)まちなかサロン事業

誰もが気軽に立ち寄れる場として、1 階ではランチ、ドリンク、レンタルボックスを使ったハンドメイドの雑貨販売を行い、2 階では、仲間づくりや健康づくり、生きがいづくりとして子供から大人まで多世代にわたり楽しんでもらえる場の提供に努めました。

<1 階スペース>

ランチの提供を（日・月・火曜日）から（月・火・水曜日）に変更をし、喫茶は変わらず（金・土曜日）で提供しました。

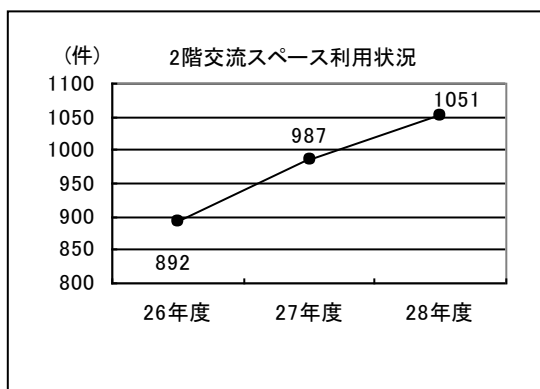
営業日数	延利用者数	平均利用者数
257 日	4,647 名	18.0 名



<2 階交流スペース>

子育て世代から高齢者までを対象とした講座を開催しました。

講座数	延利用者数	平均利用者数
101 回	1,051 名	10.4 名



<ほべたん食堂>

「食育」を通じて、地域の子どもたちに温かな夕食のどんらんを提供することを目的に、いばらきコープとの共催で5月から毎月第3木曜日、午後5時から午後7時まで、「ほべたん食堂」（子ども食堂）を開催しました。

回数	延べ参加者数	延べボランティア数	計
12回	356名	138名	494名



<学生カフェ>

大学生による1日限定「学生カフェ」を開催しました。周知についてはSNSを利用したため、若い方の来店が多くありました。

開催日	内容	来店者
8月21日	夏野菜カレーとハーブティー 34食	44名



6. 総合福祉的事業

地域福祉活動事業

①地域福祉活動事業の重要性について、地域の中で懇談会を実施し、地域住民が取り組める地域福祉活動のきっかけづくりに取り組みました。

②地域においてのサロン事業の推進及び連絡会等の開催を図りました。

<ふれあいサロン開設状況> (概ね 65 歳以上の高齢者対象)

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
砂子いきいきサロン	砂子	15名	12回	144名
大園木いきいきサロン	大園木	8名	11回	76名
小友会	小野子	32名	47回	459名
あおばすくサロン	西町・旭陣屋	32名	19回	341名
坂本いきいきサロン	坂本	10名	11回	73名
いきいきサロンさぬま	長塚	15名	26回	276名
サロン陽だまり	大宝	35名	22回	203名
比毛サロン	比毛	11名	12回	144名
鎌庭西菊寿会	鎌庭西	28名	32回	382名
さくら会(障害者の会)	市内	4名	15回	56名



サロン交流会



サロン陽だまり

<ふれあいいいきいきサロン連絡会・研修>

開催	内容	参加
10月7日	サロン連絡・交流会 上半期活動報告、情報交換など	42名
3月8日	地域コミュニティづくり推進のつどい 水戸市	14名
3月11日	地域包括ケアシステム講演会 パネラーとして発表(大宝地区)	

7. 災害・緊急支援事業

<火災見舞金>

件数	金額
4件	110,000円

<行路人旅費>

件数	金額	償還
6件	3,000円	0円

※内学用品代 30,000円

【ボランティアセンター事業】

介護予防・認知症予防に効果のあるスクエアステップの講演や体験会を実施したほか、

リーダー養成講座、指導員養成講座を開催し、地域で主体となって活動する人づくりに努めました。

1. 相談・登録・紹介

①ボランティアの状況

内 容	状 況
把握団体数	8団体
登録団体数	25団体
個人ボランティア登録者	52名
ボランティア総数	1,660名

②ボランティアの相談・登録・紹介

内 容	件数
ボランティア活動希望	4件
ボランティア活動依頼	42件
講師・指導者の照会	5件
福祉教育支援・他	64件
相談・情報提供	12件
保険・物品・その他	39件
計	166件

③ボランティア保険加入状況

内 容	加入者数	助成額
ボランティア保険加入者	486名	97,200円
行政管掌ボランティア（6団体）	1,012名	—
災害ボランティア（特例措置）	6名	—
計	1,504名	97,200円

2. 広報・啓発

- ・下妻市防災訓練（東部中学校区）に参加し、災害ボランティアセンターの役割についてPRしました。
- ・砂沼フェスティバルにてボランティアサークル6団体による活動PRを行いました。
- ・広報紙やホームページ等を通じて、ボランティア情報、活動案内等を掲載し、その重要性をPRしました。

3. 参加・育成

(1) ボランティア養成事業

開 催	講 座 名	内 容	参 加
5月26日	スクエアステップ 講演&体験会	講 師：筑波大学 准教授 大藏 倫博 対 象：一般 会 場：下妻公民館	65名
6月23日 ～全5日間	スクエアステップ リーダー養成講習会	講 師：筑波大学 准教授 大藏 倫博 (スクエアステップ協会) 対 象：一般 会 場：下妻公民館	115名
10月8日	スクエアステップ 指導員養成講習会 主 催 下妻スクエアステッ プの会	講 師：筑波大学 准教授 大藏 倫博 (スクエアステップ協会) 対 象：リーダー養成講座修了者／一般 会 場：下妻公民館 結成されたVサークルが主催となり開催	25名

3月29日	私たちの 災害ボランティア	講師：防災アドバイザー 米澤 智秀 対象：登録ボランティア（個人・団体） 会場：福祉センター 砂沼荘	29名
-------	------------------	--	-----



スクエアステップリーダー養成講習会



指導員養成講習修了者

(2) ボランティア活動助成事業

＜ボランティア活動助成＞

申請者	申請件数	申請額	助成件数	助成額
サークル	16件	470,000円	16件	470,000円
学校	12校	471,000円	12校	471,000円
ボ連協	1団体	50,000円	1団体	50,000円
計	29件	991,000円	29件	991,000円

下妻ボランティア連絡協議会（20サークル加入）

(3) 福祉教育支援事業

- ・ 障害を身近なものと考えられるようメニューおよび体験について、ボランティア活動団体と共に取り組みました。
- ・ 大宝小学校、上妻小学校では、職員研修の一環として、伊奈特別支援学校キャラバン隊による障害者理解促進研修を実施しました。



上妻小アイマスク体験



伊奈特キャラバン隊による上妻小職員研修

＜総合学習の時間等福祉体験支援＞

学校／学年	ｱｲﾏｽｸ	手話	点字	ｼﾝﾌﾞ	盲導犬	昔語り	絵手紙	講話	その他	日数（コマ）
下妻小	4	3	4	5	2	1				6（16）
大宝小			4・5	6	3・2	1				6（11）
総上小			4		4		4	4		4（5）

上妻小	4	4			3		3	3・3		6 (9)
騰波ノ江小		3			3	3~6	3	3		7 (8)
豊加美小	3	3			3	1・2				4 (4)
高道祖小	4		4			1・2		4		4 (4)
宗道小		3	3		3					3 (6)
大形小		4	4						伊奈特キャラバン (4)	3 (4)
下妻中									車椅子体験 (3)	1 (1)
東部中									防災学習 (2)	1 (2)
千代川中									認知症キャラバン (3)	1 (1)
実施日合計 (コマ)										46日 (71)
体験延人数	249	312	322	155	345	380	89	170	269	2,291人
V協力延数	32	41	43	14	8	7	3	0	17	179人

(4) 善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	28件	1,555,313円

指定寄付内訳	金額
母親クラブ	75,000円
ガールスカウト茨城第42団	75,000円
ほべたん食堂	10,000円

種類	使途内容	預託件数	数量
古切手	(社)日本キリスト教海外医療協力会へ	162件	100,877枚
使用済みプリカ	(財)緑の地球防衛基金へ	12件	439枚
書き損じハガキ	官製ハガキに交換しひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	12件	333枚
預託品	必要な方に(未使用タオル、大人用紙おむつ、ほか)	64件	

4. ボランティアの連携・交流

<研修会>

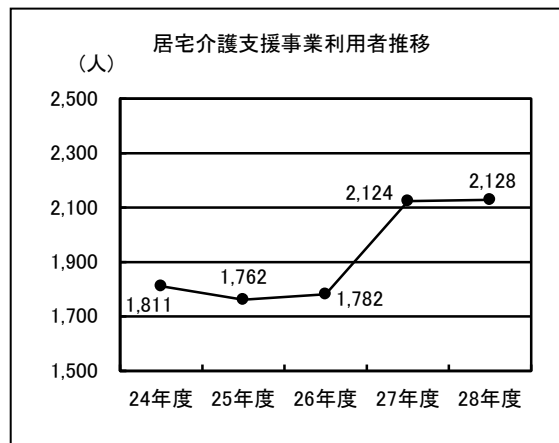
開催	講座名	内容	参加
4月17日	自分たちで作ろう! 地域包括ケアシステム 主催:ボ連協	講師:下妻市地域包括支援センター 対象:ボ連協加入 ボランティア 会場:下妻公民館 ボ連協総会後に出前講座として開催	82名
10月5日	“障害のあるこって どんな気持ち?”	講師:伊奈特キャラバン隊 (伊奈特別支援学校PTA有志) 対象:ポータル利用者 結城特別支援・市内小学校保護者 会場:福祉センター 砂沼荘	27名

【介護保険等事業】

1. 居宅介護支援事業

主任介護支援専門員を2名体制にし、常勤職員も増員したことで事業所体制の安定化を図りました。

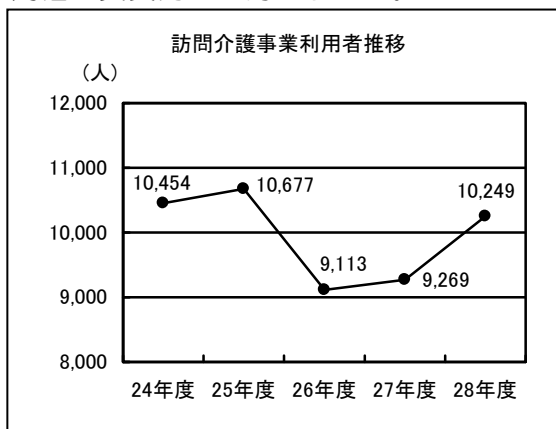
区分	延べ利用者
要支援 1	70名
要支援 2	195名
要介護 1	665名
要介護 2	593名
要介護 3	390名
要介護 4	119名
要介護 5	96名
計	2,128名



2. 訪問介護事業

- ・臨時職員の年齢に応じた活動の終了や変更など体制の変更を行いました。
- ・職員不足の状況を派遣調整に努め効率化を図りました。
- ・事例検討や認知症に関する勉強会などを開催し資質向上に努めました。

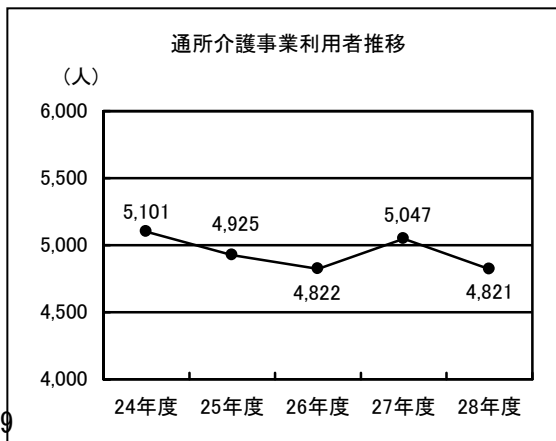
区分	延べ利用者
要支援 1	123名
要支援 2	861名
要介護 1	2,295名
要介護 2	1,786名
要介護 3	1,528名
要介護 4	1,850名
要介護 5	1,806名
計	10,249名



3. 通所介護事業

事業所への広報活動やレクリエーションの充実などサービスの向上に努めました。実績は低下しましたが、利用状況としては要介護認定者の利用が増加しました。

区分	延べ利用者
要支援 1	46名
要支援 2	176名
要介護 1	1,347名
要介護 2	1,764名
要介護 3	1,048名

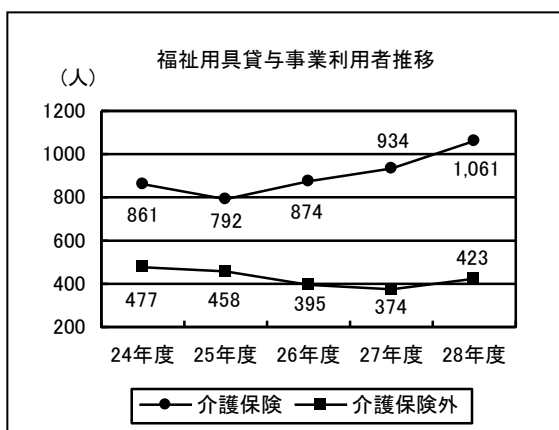


要介護 4	318 名
要介護 5	122 名
計	4,821 名

4. 福祉用具貸与事業

- ・貸与後の定期的なモニタリングを行いサービスの向上に努めるなど業務成果に伸びがありました。
- ・介護保険外（一般貸与）については貸与料金の見直しを行うなど特殊寝台の需要が高まりました。

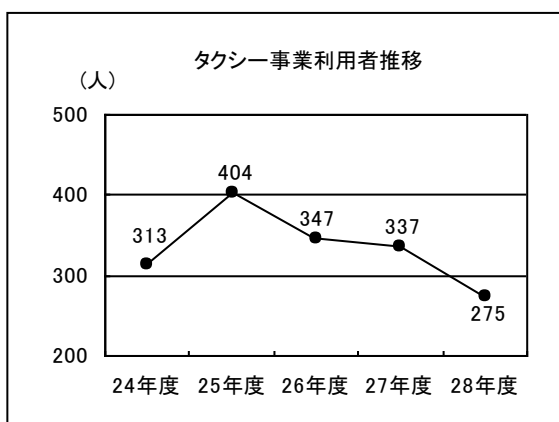
区分	延べ利用者
要支援 1	16 名
要支援 2	66 名
要介護 1	238 名
要介護 2	343 名
要介護 3	192 名
要介護 4	134 名
要介護 5	72 名
計	1,061 名



5. 福祉タクシー事業

職員 1 名体制で活動に制限がある状況でしたが、効率的な配車に努めました。

実利用者	延べ利用者	移送回数
27 名	275 名	572 回

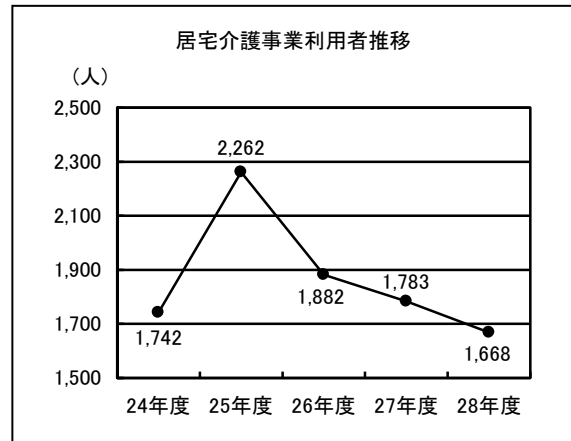


【障害者総合支援事業】

1. 居宅介護事業

精神障害に関する勉強会を開催するなど利用者に対する理解を深め、より良いサービスの提供に努めました。

区分	延べ利用者
区分 1	137 名
区分 2	171 名
区分 3	359 名
区分 4	223 名
区分 5	373 名
区分 6	405 名
児 童	0 名
計	1,668 名



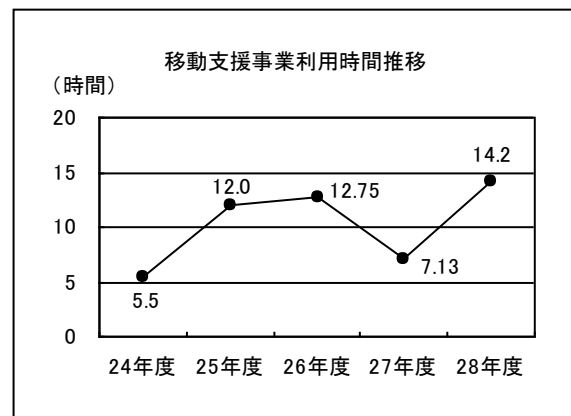
2. 行動援護事業・重度訪問介護事業

両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

3. 移動支援事業

- ・買い物や余暇活動など、社会参加に必要な外出時の支援を行いました。
- ・1回あたりの利用時間が長い傾向にありました。

利用者数	利用回数	延べ利用時間
2 名	5 回	14.2 時間

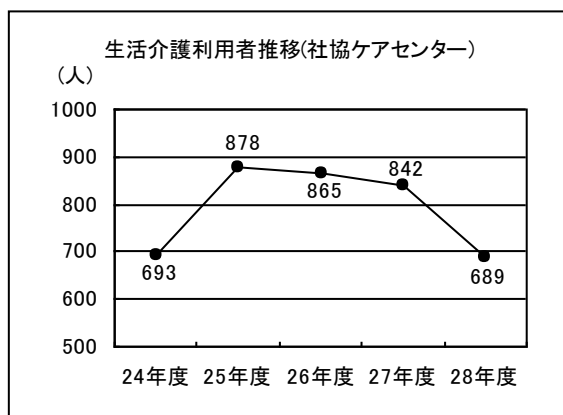


4. 生活介護事業

- ・特殊浴槽を希望される障害者の方を中心にサービスを提供しました。通所介護事業併設型のため受入人数に制限がある状況でした。(社協ケアセンター)
- ・利用者の退所者は2名ありましたが、全体の延べ利用数は増加しました。(ひばりの)

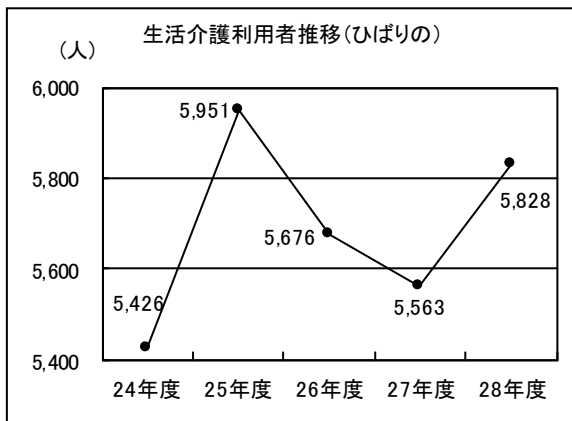
<社協ケアセンター>

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	2 名
区分 3	155 名
区分 4	0 名
区分 5	213 名
区分 6	319 名
計	689 名



<ひばりの>

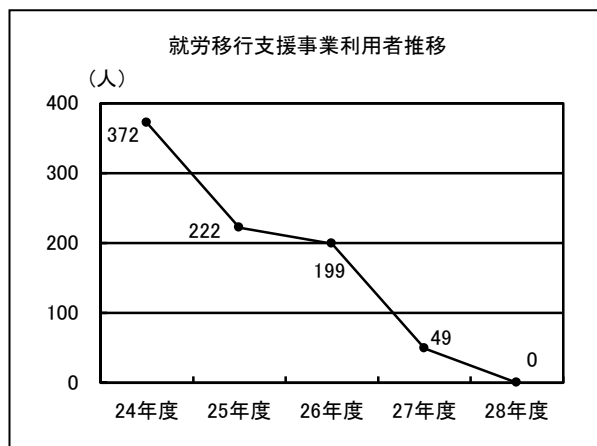
区分	延べ利用者
区分 1	0名
区分 2	0名
区分 3	772名
区分 4	2,374名
区分 5	746名
区分 6	1,936名
計	5,828名



5. 就労移行支援事業

就労移行支援利用実績は、ありませんでした。

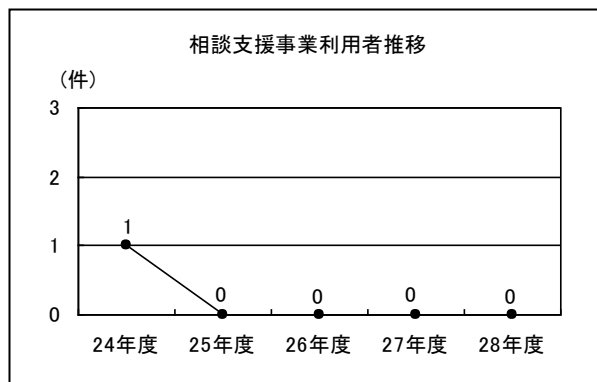
実利用者	延べ利用者
0名	0名



6. 相談支援事業

対象となるケースがなかったため、実績がありませんでした。

相談利用者	0名
-------	----



7. 障害者日中一時支援事業

特別支援学校等の長期休暇期間及び休日等に一時的預かりを実施しました。

利用者数	延べ利用者数
2名	68名

